

2023年3月28日

東北電力株式会社向けトランジション・ローンへの取組みについて

～温室効果ガス排出削減に向けた取組みへの資金供給を通じ脱炭素社会への移行を後押し～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、東北電力株式会社(取締役社長:樋口 康二郎¹、以下「東北電力」)を借入人とするトランジション・ローン²契約を締結し、50億円の融資(以下「本融資」)を行いましたので、お知らせいたします。

トランジション・ローンを含む「トランジション・ファイナンス」³は、気候変動リスクへの対策を検討している企業が、脱炭素社会の実現に向けて、長期的な戦略に則った温室効果ガス(GHG)排出量削減の取組みを行っている場合に、その取組みを支援することを目的とした金融手法です。

東北電力は、「東北電力グループサステナビリティ方針」の下、サステナビリティを経営の中核に据え、2021年3月には、カーボンニュートラル実現に向け長期的な方向性を示した「東北電力グループカーボンニュートラルチャレンジ 2050」を公表しました。本方針では、2050年カーボンニュートラルおよび2030年にCO₂排出量半減(2013年度対比)等の目標を掲げ、「再生可能エネルギーと原子力発電の最大限活用」「火力電源の脱炭素化」「電化とスマート社会実現」の3本の柱を中心に、GHG排出量削減に向けた取組みを推進しています。

本融資によって調達された資金は、これらの目標達成に向けた東北電力の取組みの内、上越火力発電所の整備費用および、東北東京関連系線や東北北部エリアにおけるインフラ整備費用に用途を限定しています。

上越火力発電所は、環境負荷が少ない液化天然ガス(LNG)を燃料とし、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル発電方式を採用することで高い発電効率を実現しています。これらの高効率電源の活用により、従来の石炭・石油火力発電所等の休廃止を進め、GHG排出量削減による環境負荷低減が期待されます⁴。

また、東北地方における系統整備を通じて、再生可能エネルギーの導入拡大等に向けた電力ネットワークの高度化も期待されます。



新潟県上越市 上越火力発電所 (写真提供:東北電力)

当社は、本融資を通じて GHG 排出量削減に向けた東北電力の取組みを資金面からサポートすると共に、その進捗状況を継続的にモニタリングしていきます。今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図ると共に、責任ある機関投資家として持続可能な社会の実現に寄与すべく、ESG 投融資に積極的に取り組んでいきます。

¹ 樋口の「樋」は、一点しんによ

² 東北電力が策定した「東北電力グリーン・ファイナンス・フレームワーク」は、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパンから、グリーン・トランジションファイナンス等に係る各種基準等への適合性について第三者評価を取得しています。

³ 当社は、2022年9月にトランジション・ファイナンスに関する基本的な考え方などを定めた取組方針を公表しています。(https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ri-report_008.pdf)

⁴ 英国の TransitionZero が 2022 年 2 月に公表した、日本の石炭火力発電政策に関する報告書「石炭新技術と日本」によると、日本の石炭火力発電による CO₂ 排出量の平均値は 925gCO₂/kWh で、LNG 火力発電に切り替えることで 389gCO₂/kWh に削減されます。

【案件概要】

借入人	東北電力株式会社
融資額	50 億円
期間	7年
資金使途	<ul style="list-style-type: none">・上越火力発電所の整備資金・東北東京間連系線の整備費用・東北北部エリアにおける電源募集プロセスの系統整備費用